

消防団だより さかえ

第38号

発行 消防団会
栄消 報部 会
広報 部 会
(栄消 防 署 内)
電話045-892-0119

横浜市消防操法技術訓練会 in 山下埠頭



- 指揮者：宮田祐士
(第二分団1班)
- 1番員：石井海渡
(第二分団3班)
- 2番員：吉野祐貴
(第二分団1班)
- 3番員：濱野和明
(第二分団1班)
- 補員①：星野雄一郎
(第二分団3班)
- 補員②：菅野正文
(第二分団3班)



横浜市消防操法技術訓練会

令和7年11月8日(土)、横浜市消防操法技術訓練会が開催されました。

これまでの会場は消防訓練センター(戸塚区深谷町)でしたが、訓練施設更新にともなう工事のため、今回は山下ふ頭1・2号上屋跡地での開催となりました。

大会に向けての訓練は5月から延べ44回行いました。まずは豊田出張所において基礎的な訓練、7月からは住友電気工業内の場所をお借りして放水を伴う本格的な訓練を行いました。

各訓練とも木村豊田出張所長の指導の下、多くの団員の支援で効率的に訓練ができました。4名は選手として初めての操法技術訓練会出場であり、うち2名は入団して間もない団員でした。そのため基本的な動作・連携訓練の比重が大きくなり、タイムが短縮できない苦しい時期もありましたが、10月後半から急速に完成度が上がり訓練会を迎えることができました。当日は初めての場所で戸惑うこともありましたが、訓練の成果を十分に発揮して大きなミスもなく無事に終えることができました。

半年近くに及ぶ訓練を通して、各団員の技術向上はもちろんのこと、分団の結束がより強固になったことも今回の技術訓練会の大きな成果でした。



栄区消防出初式

令和8年1月10日(土)、本郷台にある『神奈川県地球市民かながわプラザ』にて栄区消防出初式が開催されました。

第一部の式典では優良消防団員等への表彰状授与、また防火防災に功労のあった団体等への感謝状授与が行われました。

第二部では春日一番太鼓、横浜市立本郷小学校マーチングバンドによる演奏に続き、栄はしご隊、豊田特別救助隊による消防演技、栄消防団による一斉放水が行われました。

今回、永年勤続30年消防団員として表彰された第四分団・長瀬和佳副分団長からコメントを頂きました。

結婚を機に消防団に入団したのですが、先輩方に面倒を見てもらい多くの方と知り合い、楽しく活動することができました。

30年の中で一番印象に残っていることは操法技術訓練会です。うまくできなかった時もありましたが、班長時代に優良賞を取れたことが嬉しかったですね。

今後も地域の安心安全のために力になれると思います。



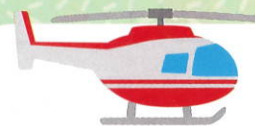
水害対策訓練

令和7年7月20日(日)、『横浜市消防訓練センター』のプールを使用して水害対策ボート訓練を実施しました。



訓練では、ゴムボートの展開から漕艇訓練を行い、実際の水害現場を想定した実践的な内容に取り組みました。

また、溺水者を想定したボートへの引き上げ方法や、浮環の適切な投げ方など、救助活動に必要な基本動作を一つ一つ確認しました。



飛行場外離着陸・航空支援隊訓練



令和7年11月15日(土)に金井公園にてヘリコプター離着陸における「消防団支援訓練」が実施されました。昨年初めて消防団員による離着陸指示を行いました。今回は初めて搬送支援を行いました。

ローター(羽)に注意しながら低い姿勢でワクワクドキドキしながらヘリに近づき、機内から傷病者を担架へ移送し、無事に任務を遂行することができました。



大規模緑地における搜索訓練

令和7年12月5日(金)、上郷町にある『横浜自然観察の森』で「大規模緑地における搜索訓練」が実施され、消防隊と警察の混成搜索隊2隊と消防団のみの消火隊1隊の合計3隊編成で実施されました。

搜索隊からの傷病者発見と焚火延焼中の報を受け、指揮本部からの下命により消火隊を編成し、背負式消火器具「Fire Hunter」を着装して指揮本部を出発、自然観察センター施設にある水道で背負式消火器具に給水して現場に急行しました。

背負式消火器具は消火ホースが持ち込めない、又は入り込めない場所で使用可能であり、シンプルかつ軽量の造りなのでハイキングコースや山岳部における火災には非常に有効な資機材だと思います。

この訓練は通常の消防訓練とは違うスキルと経験が必要とされる訓練で、次回は参加したことがない団員の方にも是非経験をしていただけたらと思います。



普通救命講習

令和7年12月14日(日)、『特別養護老人ホーム 田谷の里』の会議室をお借りして「普通救命講習」が開催されました。

これは消防団員が心肺蘇生法やAEDの使用法、窒息時の処置など、基本的な応急手当の技術を学ぶための講習で、消防団員の家族や地域住民の生命を守ることを目的としています。

今回は田谷町の『田谷の里』に勤務する第二分団・近藤団員の提案により、同施設の地域貢献の一環として消防団が会議室を特別にお借りして開催することができました。

『田谷の里』の皆さん、近藤団員、ご協力ありがとうございました!



おでかけ防災教室



令和7年11月18日(火)、横浜市立上郷小学校で栄消防署総務・予防課職員と第四分団が協力して、3年生児童を対象とする「おでかけ防災教室」を開催しました。

おでかけ防災教室は市内の各小学校の3年生に毎年行っているもので、1・2年生での「生活科」が3年生では「社会科」となり、「町探検」として自分たちが暮らす町のあり方や関わる人・物をより具体的に学ぶ一環として、暮らしのなかで「防災」を学習することが目的です。

最初に校庭で消防車両の展示や消防資機材の紹介を行ったあと、119番の通報体験や消防の仕事を説明する動画鑑賞、消防署職員と消防団員がそれぞれの活動内容や資機材のより詳しい使い方を紹介しました。さらになぜ消防に携わるようになったか、普段の仕事は何をしているのかなど、児童からの質問に受け答えする形で説明しました。

今回のやり取りを受けて、消防団では主たる職業に加えて防災・消防にも関われる「二刀流」が可能なのだとわかってうれしかったという児童の声があったことは、今後の消防団員募集の観点からも大切だと感じました。

災害で傷つき、悲しむ人を一人でも減らすために。
消防団は、わが街を守るために、なくてはならない組織なのです。

消防団員募集中!

あなたの力が必要です。

消防団に参加しませんか。



※募集対象：18歳以上で栄区内に在住、在勤または在学されている方(性別は問いません)
外国人の方も入団できるようになりました



お問合せ先：栄消防署 総務・予防課 消防団係 ☎ 045-892-0119